

ノルウェーの森の吟遊詩人 Picidae 長野公演

Picidae

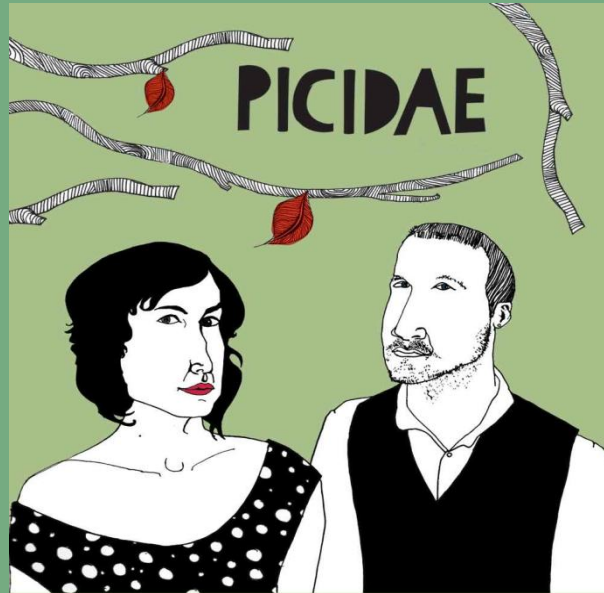
ピッキデー

Erik Doersdal

エイリック・デルスタール
: トランペット

Sigrun Tara Oeverland

シングルン・タラ・エヴァラン
: ボーカル、リラ、オートハープ



「ピッキデー」とはラテン語で「きつつき」のこと。静かな森にコツコツと響く音。姿が見えなければ、まるで木が鳴いているようだ。いるはずなのに、なかなか見えない。そんな不思議さがピッキデーだ。

竖琴が響く中、リリカルに漂う女性ヴォーカルに、エフェクトを駆使したトランペットがそこはかたなくかぶさる。静かだが芯のある新感覚のデュオ。自然に、柔らかく、でもしっかりと自分を見つめる。そんな姿勢が好きなら、きっとピッキデーがやってきてそばに寄り添ってくれるだろう。

長野県飯山市斑尾高原

●2011年10月22日(土) 19:00開場 19:30 開演
斑尾高原絵本美術館 0269-64-2807
3,000円 (当日3,500円) 40名限定



入館料込 ソフトドリンク・スナック付
げーじゅつ祭期間中の入館フリーパス付
斑尾高原ホテルから徒歩5分。
駐車場: 第1/第2駐車場をご利用ください。

●2011年10月23日(日) 13:00開場 13:30 開演
斑尾高原紫音ハーブミュージアム 0269-64-2515
3,000円 (当日3,500円) 40名限定



入館料込
懇親会(ソフトドリンク・スナック付)参加費込
まだらお高原山の家から徒歩5分。
駐車場: 山の家駐車場をご利用ください。

関連イベント

◆ノルウェー×斑尾スタイル森のピクニック (希望湖またはブナ林ハイキング+ランチ+北欧ティータイム)
10月22日(土)11:00~14:00 料金:2,800円 まだらお高原山の家集合 定員:20名 最少催行人数:10名
申込締切:10月21日(金) 天候などにより、内容が変わる場合があります。 協力:ペンションぶ〜わん、Cozy&Rosy

【主催】斑尾国際音楽村 【共催】斑尾高原げーじゅつ祭 【企画制作】Office Ohsawa まだらびっと
【後援】斑尾高原観光協会 信州いいやま観光局 ノルウェー王国大使館
【協力】斑尾高原絵本美術館 斑尾高原紫音ハーブミュージアム



斑尾高原
げーじゅつ祭
共催イベント

<http://madarao-music.net>

斑尾国際音楽村

チケット取扱い

ticket@madarao-music.net

e+ (イープラス)

斑尾高原絵本美術館

斑尾高原紫音ハーブミュージアム

イベント内容問合せ

info@madarao-music.net

<http://eplus.jp/>

0269-64-2807

0269-64-2515

080-3344-5882



Picidae



ピッキデー <http://nrk.no/urort/artist/Picidae/>

ノルウェーを中心に活動する新感覚デュオ。
北欧の静寂な自然と精神世界を、音楽というフィールドで具現化し、聴く者をアナザー・ワールドへと誘う。北欧、ケルト、トラッド系をはじめ、ノルウェージュズ、ジャンルを超えたヴォーカルものがお好きな方に、特にお薦めします。

Erik Doersdal

エイリック・デルスダール:トランペット

ノルウェー南部の海岸地方にある小さな漁村 Risoer (リゼール)の出身。そのためか創造の源泉として好きな海や海岸などについての想いがあるという。ノルウェーのKristiansand (クリスチアンサン)音楽院で勉強した後、スウェーデンの Götheborg (ゲーテボルグ)音楽院でも学ぶ。彼のトランペットは普通のトランペットと全く違う。音量が極めて小さく、繊細で、非常に渋い吹き方をする。長めのトーンを使い、徹底してヴォーカルのバックをつとめる。作曲家としても活動し、クラシック・アンサンブル、ビッグバンドや小さなジャズバンドにも曲を提供している。

Sigrun Tara Oeverland

シングルン・タラ・エヴァラン:ボーカル、リラ(小型の古代型竖琴)、オートハープ

Kristiansand の音楽一家に生まれる。母親が、スコットランドの Mull (マル)島出身の一族であることから、彼女のオリジナル曲には、スコットランド、つまりケルト系の雰囲気を感じる。彼女も、Kristiansand音楽院で学んでいるが、その後ノルウェー音楽院でも学ぶ。Picidaeのほか、5つの異なるバンドで活動を展開し、ポップ (Tara というバンド)、ロック (Evan Seleven)、フォーク・ポップ (Anne Marie Almedal) や映画音楽 (Kaada オーケストラ)など多岐に亘る。

ノルウェー

スカンジナビア半島の西側に位置する北欧の国。人口は480万人。面積は38.6万km²で日本とほぼ同じ。首都はオスロ。海岸にはフィヨルドが発達している。国土の北半分は北極圏に位置し、冬にはオーロラが頻りに観測される。1人当りのGDPや平均寿命、就学率、成人識字率ともに世界的に高く、世界で最も男女平等が進んでいる国でもある。2010年の「人間開発指数(HDI)」は世界第1位。ノーベル平和賞の選考、授賞式はノルウェーで行なわれている。著名なノルウェー人としては、ムンク(画家)、ナンセン(探検家)、イプセン(作家)など。

斑尾高原リゾート

<http://madarao.tv/>

長野県の北端、新潟県との県境にまたがる斑尾山の北東側の山麓に広がるオールシーズンリゾート。標高約1000mの高原には100軒もの個性あふれるホテルやペンション、ショップが点在する。冬は毎年3~4mという豊富な積雪量に恵まれるスキー場として、夏は平均気温22℃の避暑地として、また近年はグリーンシーズンにさまざまなアウトドアスポーツや自然体験、トレッキングなどを楽しむ人たちが賑わう。山麓に広がる森、そしてところどころに点在する湿原や湖沼は、多くの野生動物や山野草の宝庫で、四季折々に目を楽しませてくれる。

斑尾高原げーじゅつ祭

毎年、斑尾高原の紅葉の最盛期に開催され、今年で17回目になる。高原内に点在するペンションやホテルがギャラリーとなり、自然を楽しみながら散策し、ゆったりとした空間の中で、個性あふれる作家の作品を鑑賞・購入することができる。料理自慢のペンションの手作りケーキやランチもお薦め。10月21日(金)~23日(日)開催。

斑尾高原絵本美術館

<http://www.madarao-ehon.com/>

夢をテーマに、欧米の絵本作家の原画や資料を展示する、ほっと寛げる可愛いミュージアム。アメリカの女流作家フンヴィア・ヴィトンの作品を常設展示するほか、年3~4回の企画展を開催。木や鉄を使ったオブジェも展示し、興味深い作品群が並ぶ。



斑尾高原紫音ハーブミュージアム <http://sionharp.madaraoougouen.com/>

ハーブ専門ミュージアムは世界でここだけ。世界5大陸・様々な時代のハーブ約30台を常時展示。クラシックハーブ、アイリッシュハーブ、チロリアンハーブ、サウン(ビルマの竖琴)、クロマティックハーブ、トゥリプルハーブ、アフリカンハーブ、中世ゴシックハーブ、中南米のアルパなど、入手困難なインディオ手作りのハーブも含めた珠玉のコレクションは必見。



斑尾国際音楽村

<http://madarao-music.net/>

音楽に溢れる地域作りと音楽・文化を通じた国際交流を目的として、2006年にスタート。「世界が斑尾にやってくる」シリーズの斑尾高原で開催する主催ライブでは、これまで、ペルー、ボリビア、キューバ、フィンランド、ノルウェー、インド、シカゴのアーティストを招聘。山と緑に囲まれた高原でリラックスして聴く世界の音楽は斑尾ならではのものだ。

● by Car		180分 225分 220分 340分 380分 120分 165分	
東京	関越自動車道→上信越自動車道		
東京	中央自動車道→長野自動車道→上信越自動車道		
名古屋	中央自動車道→長野自動車道→上信越自動車道		
大阪	名神自動車道→中央自動車道→長野自動車道→上信越自動車道		
名古屋	名神自動車道→北陸自動車道→上信越自動車道		
新潟	北陸自動車道→上信越自動車道		
金沢	北陸自動車道→上信越自動車道		
● by Train & Bus		79分 175分	
東京	長野新幹線		
名古屋	中央線		
		80分	

斑尾高原近辺のイベント/アクティビティー

- 10/10(月) 斑尾高原トランレース
- 10/21(金)~23(日) 斑尾高原げーじゅつ祭
- 12/16(金) 斑尾高原スキー場 Open
- 12/17(土) タングラムスキーサーカス Open
- 12/31(土) カウントダウンイベント
- 1/7(土) 火祭り
- ~11/6 ZIPLINE アドベンチャー
- ~11/6 信越トレイルトレッキングツアー

宿泊・斑尾情報は 斑尾高原観光協会

0269-64-3222
madarao@iiyama-catv.ne.jp

斑尾高原内/近辺の温泉

- 斑尾高原温泉
- まだらおの湯
- タングラム斑尾温泉
- 樽本温泉

10月21日(金)~23日(日)は、ぜひ 泊りがけで紅葉・アート・クラフト・ミュージック・グルメの斑尾高原にお越しください。